

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で、次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	「ちょっと待って」や「危ないから座っていて」など言葉によって抑制につながる場面がある。	身体拘束防止について再度正しく理解し、身体拘束をしないケアに取り組む。	すぐに対応できない場合は理由を伝えて理解してもらい、あとできちんと対応したり、危ない場合は一緒に付き添ったりするなど、声かけやケアを工夫し言葉の拘束とならないように努める。	6ヶ月
2	35	利用者の緊急時に迅速に対応できるか不安がある。	想定される緊急事態を日頃から職員間で話し合い、迅速に対応できるよう体制を整えておく。	全職員が救命講習の受講を継続し、実践対応できるようにしておく。行方不明や転倒など、防ぐことが可能なものはヒヤリハットなどをもとに事故防止に努め、職員間で連携しながら日々のケアに取り組む。	6ヶ月
3	38	水害対策として、毎年近隣小学校まで車両に乗って避難する訓練を行っているが、今年度8月の雨で施設周辺の道路が冠水する事があった。冠水した場合の対応マニュアルを再確認する必要がある。	あらゆる災害を想定し、避難場所や避難経路の再確認や見直しを行う。	日頃から火災や水害の他、地震や大雪などの災害対応マニュアルを確認しておき、管理者会議やユニット会議などで再確認や見直しを行い、災害対策の共有をはかる。	3ヶ月
4	53	コロナ禍を機に、外出を控える日々が続いている。	日常的な外出の機会を増やす。	ユニット全体での花見や紅葉ドライブは継続し、個別での散歩や、自宅へ帰りたいという希望に対応するなど、外へ出て気分転換をはかる機会を今後も増やしていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。